



新明和工業株式会社

会 社 概 要

商 号 新明和工業株式会社  
設 立 1949年11月5日  
代 表 者 取締役社長 五十川 龍之 (いそがわたつゆき)  
本 社 所 在 地 〒665-8550 兵庫県宝塚市新明和町1-1  
資 本 金 15,981,967,991円(2021年3月末現在)  
従 業 員 数 連結...5,400名 単体...3,096名(2021年3月末現在)

ウェブサイト



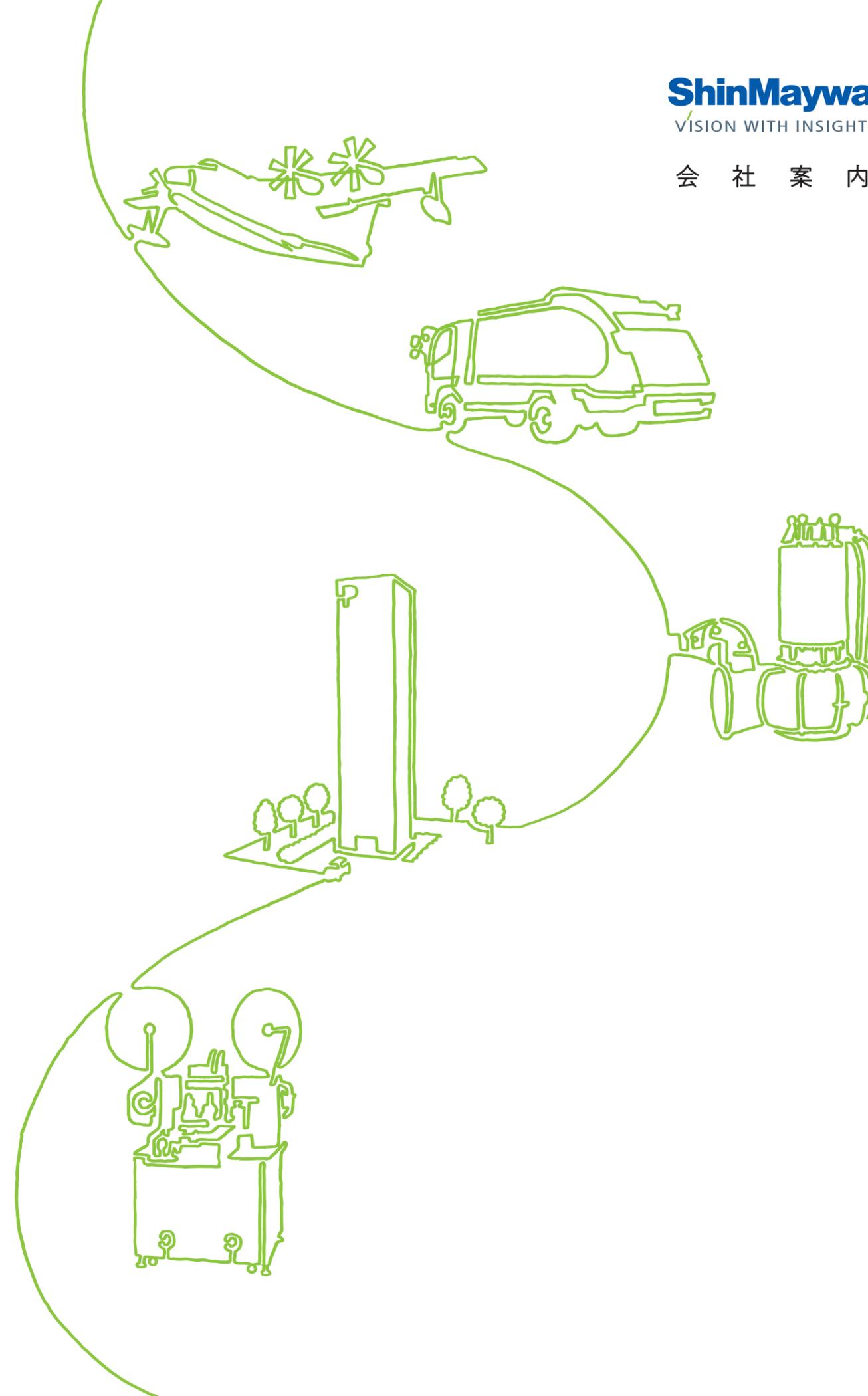
Facebook



Instagram



YouTube



# 1世紀を超える歴史を糧に、モノづくりへの想いと技術を未来に繋ぐ

国産の航空機がまだ珍しい存在だった1920年、当社の前身「川西機械製作所」は、航空機製造を切望する社員に応え、飛行機部を創設。ここから、新明和の歴史は始まりました。製造初号機となった「川西一型機」を皮切りに高性能な航空機を多数生み出し、航空機を専門とする「川西航空機株式会社」を設立。その後、航空史に残る数々の名機を世に送り出しました。第二次世界大戦後、国内では航空機の開発・製造が全面禁止となりましたが、技術者たちは「この手で再び航空機をつくる!」という想いを胸に、自社の技術力と経験を生かして時代が求める多様なモノづくりに挑んできました。

この過程で、特装車事業の起源となるダンブトラック第1号を創出し、高度成長期には、航空機製造の技術を生かした小型エンジンを活用した自吸式ポンプや自動電線処理機も製品化しました。1952年の航空機製造解禁を待って、航空機事業を再開。高度経済成長下の1960年代には、機械式駐車設備や航空旅客搭乗橋、さらに1970年代に入るとごみ中継施設などの事業を相次いで確立し、現在に至っています。

航空機の製造から出発し、時代とともに変化する社会のニーズに柔軟に応えながら、事業領域を広げてきた新明和グループ。いつの時代も変わらず大切にしてきたのは「モノづくりを通して社会に貢献したい」という想いです。創業100周年を経たこれからも、この想いと技術は時代を超えて大切に受け継ぎ、安心な社会と快適な暮らしをサポートする使命を果たしてまいります。

1920

● 「川西機械製作所」に飛行機部創設

1928

● 「川西航空機株式会社」を設立

1949

● 「新明和興業株式会社」を設立

1945

○ 航空機の国内製造禁止

1952

○ 航空機の国内製造解禁

1946

○ ポインター・オートバイ用四〇型56ccエンジン試作第1号完成



※ポインター・オートバイは1963年に生産中止を決定

1949

○ 「ダンブトラック」第1号完成



1960

● 「新明和工業株式会社」に社名変更

1964

● 「社是」を制定

進堅 確清  
取実 心深

1980

1990

2000

2010

2030

1988

● タイに海外初の拠点となる  
THAI SHINMEIWA CO., LTD.  
(現 Thai ShinMaywa Co., Ltd.) を設立



1992

● ロゴマークを制定

“ShinMaywa”という綴りは、青春のさわやかさを感じさせる5月にちなみ“May”をとりいれました。また、“May”はラテン語で成長の女神を表す“Maia”にも由来しています。

**ShinMaywa**

2020

● 創業100周年を迎える  
● 「経営理念」を制定

2019

● 新明和工業株式会社として  
● 創立70周年を迎える

2021

● タグライン  
● 「VISION WITH INSIGHT」を制定

1974

○ 「PS-1改 (US-1)」1号機初飛行



国産初となる水陸両用機

1967

○ 「PX-S (PS-1) 飛行艇」  
1号機初飛行



○ 開発センター内に  
ごみ中継基地モデルプラントを  
建設



1956

○ 「ワイヤー・ストリッパー」  
第1号完成



1954

○ 「自吸式ポンプ」第1号完成



1964

○ 垂直循環方式立体駐車設備  
「新明和パーキングタワー」開発



第1号を納めた  
三和銀行 (当時) 本八幡支店

新明和グループの歴史について  
詳細はこちら



# 未来を展望し、グローバル社会のニーズに 応え続ける、価値共創カンパニーを目指します。



“モノづくりへの想い”を  
次の世代へと受け継ぎながら、  
未来志向で変革に挑みます



取締役社長  
**五十川龍之**

新明和グループは、2020年に創業100周年を迎えました。100年もの間事業を継続できたのは、お客様、株主様、お取引先様、そして私たちを支えてくださる多くの皆様からのご支援、ご協力があったからこそであり、会社を代表して、心から感謝申し上げます。

航空機の製造からはじまった新明和グループの歴史は、社会が求める製品・サービスを一つずつカタチにしていくことで事業領域を拡大してまいりました。現在では、航空機、特装車、流体、産機システム、パーキングシステムという5つの事業分野を有し、各々が社会インフラを支える製品・サービスを提供しております。

そして、開発から製造、販売、アフターサービスに至るまで、グループ会社と連携してワンストップで提供できるのが私たちの大きな強みといえます。その成果として、ダンプトラック、塵芥車、テールゲートリフト、自動電線処理機、設備用水中ポンプ、エレベータ方式駐車設備等々、トップシェアを誇る製品を多数有して、皆様の日々の暮らしを支えてまいりました。

そんな歴史と実績を持つ新明和グループが、今、大きな転換に取り組んでおります。

これまでの100年も相応の変化や進歩がありましたが、これからの社会は、経験したことのないスピードで変化が起こることが予想されます。その中で、過去の歴史に甘んじて、その延長線を歩んでいたのでは生き残っていけないという危機感を覚えた私は、100周年を機に、「変化に対応できる力」をつけるべく、自社のマインドをもっと未来志向（長期志向）に“変える”ことを決意いたしました。

この決意を新明和グループに属する全社員で共有するために、まず、いかなる環境においても、ゆるぎない信念を持ち続ける拠り所となる「経営理念」を制定いたしました。「経営理念」には、新明和グループが生み出す製品やサービスの提供を通じて、社会から常に必要とされる存在でありたい、という強い想いを込めました。

この理念を具体化していくには、経営のスタンスを「長期志向」に転換する必要があります。そこで、新明和グループが2030年にあるべき姿を謳った「長期ビジョン」を策定し、ステークホルダーの皆様と共有することにいたしました。

この「長期ビジョン」を実現していく原動力となるのが“社員”です。さま

ざまな事業計画を実践し、その結果、新明和グループが持続的な成長を成し遂げていくうえで、“社員”の力の結集が必須となります。今後、事業の裾野を広げ、グローバル化を加速するのに伴い、人材もますます多様化していくことでしょう。そこで、新明和グループで働く社員が未来を見つめ、高い志を持ち、それらを具体化していく創造力が発揮できる職場環境を整えること、そして、将来の布石となるような「価値ある失敗」を評価する企業風土の醸成に取り組んでまいります。

「長期ビジョン」のゴールの年にあたる2030年は、奇しくも国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」のゴールの年でもあります。新明和グループは、SDGsの達成に直接寄与する「下水施設・衛生施設への製品・サービスの提供」、「技術革新による社会インフラの改良や産業改善」、「廃棄物の排出量削減」など、社会インフラにまつわる事業を多数有している点も大きな強みといえます。同様に、企業に対する社会の期待や要求は年を経るごとに高まり、人や社会、地球環境に配慮した事業活動の促進、すなわちESG経営の実践が企業グループ単位で求められています。こうした社会の変化・要求を

しっかりと受け止めるために、新明和グループでは、6ページに示した「新明和グループの理念」に基づき、健全で透明性の高い経営、社会や環境と調和した事業活動を実践してまいります。そして、あらゆるステークホルダーの皆様信頼していただける企業グループとなるよう、持続的な企業価値向上に向けた「サステナビリティ経営方針」を掲げ、E（環境）S（社会）G（企業統治）の諸施策も遂行してまいります。



新明和グループは、事業活動を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献を目指しています。

# いつの時代も全ては人々の幸せのために



## 新明和グループの理念について

### □「社是」について

1964年に制定した「社是」は、私たちにとって不変の精神であり、これからも変わらず大切に守り続け、後世に伝承してまいります。

### □「経営理念」について

2020年、創業100周年を機に「経営理念」を新たに制定した経緯については、前ページで説明いたしましたが、新明和グループが存在する理由、すなわち究極の目的は、「人々の幸せに貢献すること」です。そのために私たちが果たすべき使命は、日々研鑽を重ね、たゆまぬ技術革新に取り組み、そこから生み出される独自の技術や新たな製品・サービスを通じて、安心な社会と人々の快適な暮らしを支え続けることにあります。「経営理念」には、こうした想いを全て込めております。

### □「長期ビジョン」について

「経営理念」を具体化していくために、2030年をゴールの年とし、その時代に新明和グループが目指す「ありたい姿」を明文化したのが「長期ビジョン」です。

新明和グループは、今後も持続的な成長を図るために、グローバル市場を視野に入れ、お客様のニーズや社会課題に対し最適なソリューションで応えていきます。その対象となる領域を「都市」「輸送」「環境」インフラと定め、これらの高度化、すなわち利便性や快適性、安全性や効率性等の向上に取り組むことといたしました。また、その推進にあたり、新明和グループの総力を結集し、外部の力も積極的に活用しながら、広い視野を持って新たな価値の創造に挑む姿勢を「価値共創」と表現いたしました。

2030年に向かって、新明和グループは、「価値共創カンパニー」として成長・発展することを目指しており、取り組みはすでにスタートしています。その一端を本誌7ページから8ページでご紹介しておりますので、ご一読ください。

また、2021年には、タグライン『VISION WITH INSIGHT』を制定しました。「広い視野と洞察で未来を展望し、社会やお客様が必要とする真のニーズに応え続ける」という当社グループの企業姿勢を、ワンフレーズで端的に表現したものです。ここには、2030年を志向した「長期ビジョン」を必ず実現する、という強い意志も込めております。



### 「社是」

新明和グループがこれまで大切にしてきた価値観であり、これからも変わることのない基本精神を謳ったものです。

清潔 誠心 堅実 進取

### 「経営理念」

経営の根幹となる考え方で、取り巻く環境が変化しようとも揺らぐことのない、新明和グループの存在理由および目的、使命を表したものです。

新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、安心な社会と快適な暮らしを支え続け、人々の幸せに貢献します。

### 「長期ビジョン」

経営理念に基づき、新明和グループが目指す2030年の姿を表したものです。

グローバルな社会ニーズに応え、都市・輸送・環境インフラの高度化に貢献する価値共創カンパニーを目指します。

# 「長期ビジョン」で掲げた、ありたい姿の実現に向けた成長戦略の立案と実践



現在、新明和グループは、2030年度までを活動期間とする長期経営計画「Sustainable Growth with Vision 2030（以後、「SG-Vision 2030」と表記）」

の策定に取り組んでおります。「SG-Vision 2030」は「長期ビジョン」の達成を目指した経営計画であり、この実践と推進活動を、長期志向経営に転換するため

の手段と位置付けています。なお、「Sustainable Growth with Vision」という名称は、「価値創造による持続的成長に取り組み」という決意を表したものです。

長期経営計画  
Sustainable Growth with Vision 2030  
- 価値創造による持続的成長 -



## 長期経営計画 [SG-Vision 2030] 基本方針について

[SG-Vision 2030]では、基本方針として、

### 1. 経済価値の創出を目指す「長期事業戦略」

### 2. 社会価値の創出を目指す「経営基盤の強化」

この2つを掲げております。「長期事業戦略」では、まず、2030年に新明和グループが志向する社会未来像を描き、その新たな社会に対して、当社の強み・リソースを生かせる「都市」「輸送」「環境」といった社会インフラの領域で新たなビジネスを創出・提供する活動を通じてSDGsにも貢献することを目指しております。「都市」「輸送」「環境」、これらは、今後社会が大きく変化しても、人々にとって欠かすことのできない領域であること、また、各々が重なる部分も新明和グループ

の技術を生かした新ビジネスを創出できる領域であると考えます。「経営基盤の強化」では、以下の2点に取り組めます。

### ①「長期事業戦略」を支え、環境・経済・社会の持続性への配慮により事業の持続性向上を図る「サステナビリティ経営」の実践

「価値創造を支える7つの重要課題（ESGの視点に基づくマテリアリティ）」の解決とSDGsの達成を目指した取り組みを実践しております。

### ②DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

新たなビジネスモデルの創出や業務の多様化を加速するべく、IT強化計画に基づき、外部連携を意識したネットワーク、サイバーテロ等の脅威に対応

するセキュリティ強化を織り込んだITインフラの構築に着手しております。

これら2つの施策に注力することで、経済価値と社会価値を持続的に創出し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

今般の長期経営計画の策定・実践は当社にとって初の取り組みではありませんが、その間の「変化」を成果につなげることを前提に、現状に対して相当高い目標を掲げました。各目標値を現実のものとする手順として、10年の活動期間を3つの中期経営計画で区切り、各々を【転換】【拡大】【飛躍】と明確に位置付け、進捗状況を段階的に確認しながら推進してまいります。

### 1. 経済価値の創出を目指す「長期事業戦略」



### 2. 社会価値の創出を目指す「経営基盤の強化」

#### ①「サステナビリティ経営」の実践

価値創造を支える7つの重要課題（マテリアリティ）



#### ②DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

# [SG-Vision 2030] 達成に向けた第一歩、 中期経営計画 [SG-2023] を推進中

2021年春から始動した中期経営計画「[SG-Vision 2030] Phase1【転換】(以後、[SG-2023]と表記)」は、長期経営計画[SG-Vision 2030]の第一ステップにあたります。この3カ年は、「長期志向経営への転換」を図り、「Phase2【拡大】」へとつなげる大変

重要な期間です。事業活動におけるDX、脱炭素に代表される地球環境問題を含みSDGsへの対応、ESG投資の増加、世界の人口変動、そして渦中にある新型コロナウイルスによるパンデミックなど、過去の経験が生かせない環境下で2030年度に目指す連結売上高

4,000億円という値は、現水準の約2倍に相当する壮大な目標ではありませんが、[SG-2023]の3カ年で、未来志向で社会課題に深く向き合う企業体質へと「変化」していく姿をお見せすることで、決して不可能な目標ではないことをお示ししたいと考えております。

## 中期経営計画 [SG-2023] 基本方針について

[SG-2023]では、前中期経営計画の成果と進捗、反省に鑑みて、以下の4つの方針を掲げております。

**1. 前中期経営計画で掲げた、基盤事業の収益向上策の継続と成果の刈り取り**  
前中期経営計画の最終年度はコロナ禍で迎えましたが、その間に結実したM&Aや海外展開などの刈り取りを含め、経営の柱である基盤事業の収益性を継続して向上する策に取り組んでまいります。

**2. 「長期ビジョン」に基づく「長期事業戦略」の策定・推進**  
ICT・デジタル技術の活用により、製品・サービスの高付加価値化を通して、既存事業の収益を向上させるとともに、基盤事業のさらなる深化と、全社共通課題として社内外共創による新規ビジネスアイデアの立案・開発促進を通じた新規ビジネス創出に注力いたします。さらに、海外事業は、重点エリアを東南アジアと定め、セグメント間や海外現地法人との販売連携強化、社外では現地企業や商社とのアライアンスを強化し、受注拡大に取り組んでまいります。

**3. 経営基盤の強化**  
「長期ビジョン」の達成を志向する中、長期事業戦略を支える企業体質を「ESG」の観点で強化する「サステナビリティ経営の実践」と「DXの推進」に注力いたします。  
**4. 将来価値の創出とステークホルダーとの成果の共有**  
ROIC経営の実践により、将来価値を持続的に創出する企業体質への転換を図り、得られた利益の一定水準は、ステークホルダーの皆様へ共有・配分させていただくことをお約束いたします。

### 事業活動テーマ

#### 既存事業の収益向上

- ICT・デジタル技術による製品・サービス高付加価値化
- M&A・事業提携強化による国内事業の収益拡大

#### 新規事業の開発

- 社内外共創による新規ビジネスアイデア立案・開発促進
- IT系企業等との業務提携による新たなビジネスモデル創出

#### 海外事業の拡大加速

- 東南アジアを中心にセグメント間の販売連携を強化
- 現地企業・商社とのアライアンス強化による受注拡大

#### 事業ポートフォリオの最適化

- 事業成長性(市場成長性を含む)およびROICによる事業評価
- ハードルレートの設定によるROIC経営の徹底

### 経営基盤強化に向けた主要施策

#### E 地球温暖化防止と循環型社会への貢献

- 省エネ推進によるCO<sub>2</sub>削減と廃棄物削減で循環型社会に貢献
- 環境に配慮した製品・サービスの開発と普及

#### G コーポレートガバナンス体制の充実

- 新たなモニター機能<sup>※</sup>設置による取締役会の監督機能の強化
- サクセッションプランの導入と運用

※「サステナビリティ会議」: 全社横断的なESG重要課題に関するモニターおよび報告機能

#### S ダイバーシティ&インクルージョンの推進

- 人材ポートフォリオを基本とした人事評価軸多様化の検討
- 社会課題を自ら発見・解決・実践するイノベーション人材の育成

#### DX推進のためのIT基盤構築

- 外部連携ネットワークやサイバーテロの脅威等に対応するセキュリティ導入
- 基幹業務改革によるDX推進

## さらなる飛躍の 100年へ

ここまでの、新明和グループのバックグラウンドと新しい時代に向けた「変化」の必要性、それを具体化していくための理念や計画について述べてまいりました。

創業100周年という、栄えある歴史を持つ新明和グループは、次なる100年も、「社是」で謳う基本の精神は大切に継承しながら、「経営理念」に掲げた使命を胸に、将来にわたって企業価値を向上させ、ステークホルダーの皆様へ成長を期待していただける企業グループでありたいと考えております。

この想いを実現する第一歩として、「長期ビジョン」で掲げた、ありたい姿を現実のものとする技術革新を通して、世界の人々の暮らしをより安全で快適にする社会インフラの高度化に挑んでまいります。そのためには、グループの社員一人一人が生き生きと働ける環境を整えることが、私、そして経営幹部の責務と考えます。そして、こうした新明和グループ一丸となった取り組みが奏功し、グローバル社会の課題やニーズに常に真摯に向き合い、新たな価値を創造し、提供できる“価値共創カンパニー”へと成長する姿を思い描いております。世の中の変化に遅れることなく、常に「経営理念」に立ち返り、「人々の幸せに貢献する」ために、新明和グループは何ができるのかを自問し、行動することが、私たちの想いを遂げる手立てとなり、ひいてはサステナブルな社会の実現につながるものと確信しております。

これからの新明和グループにご期待ください。



# 想像から「創造」へ

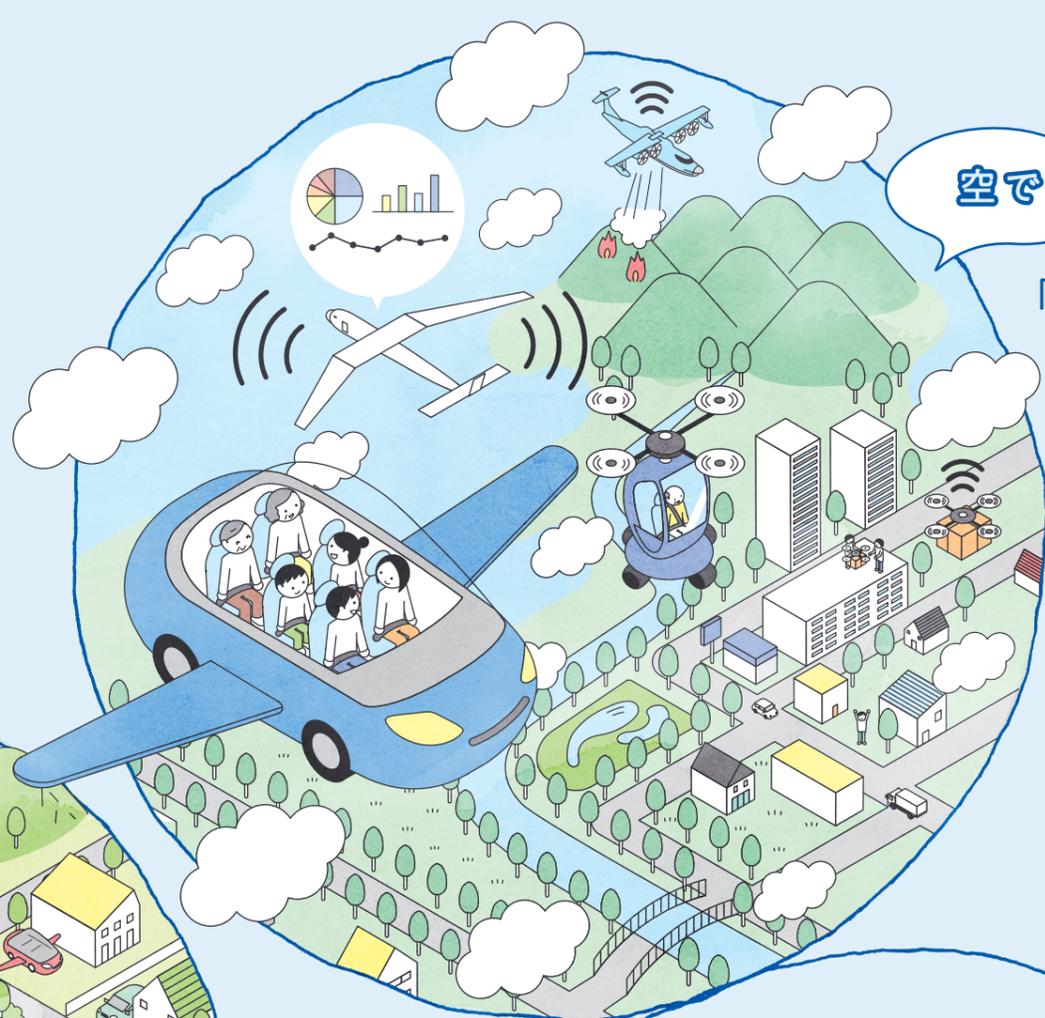
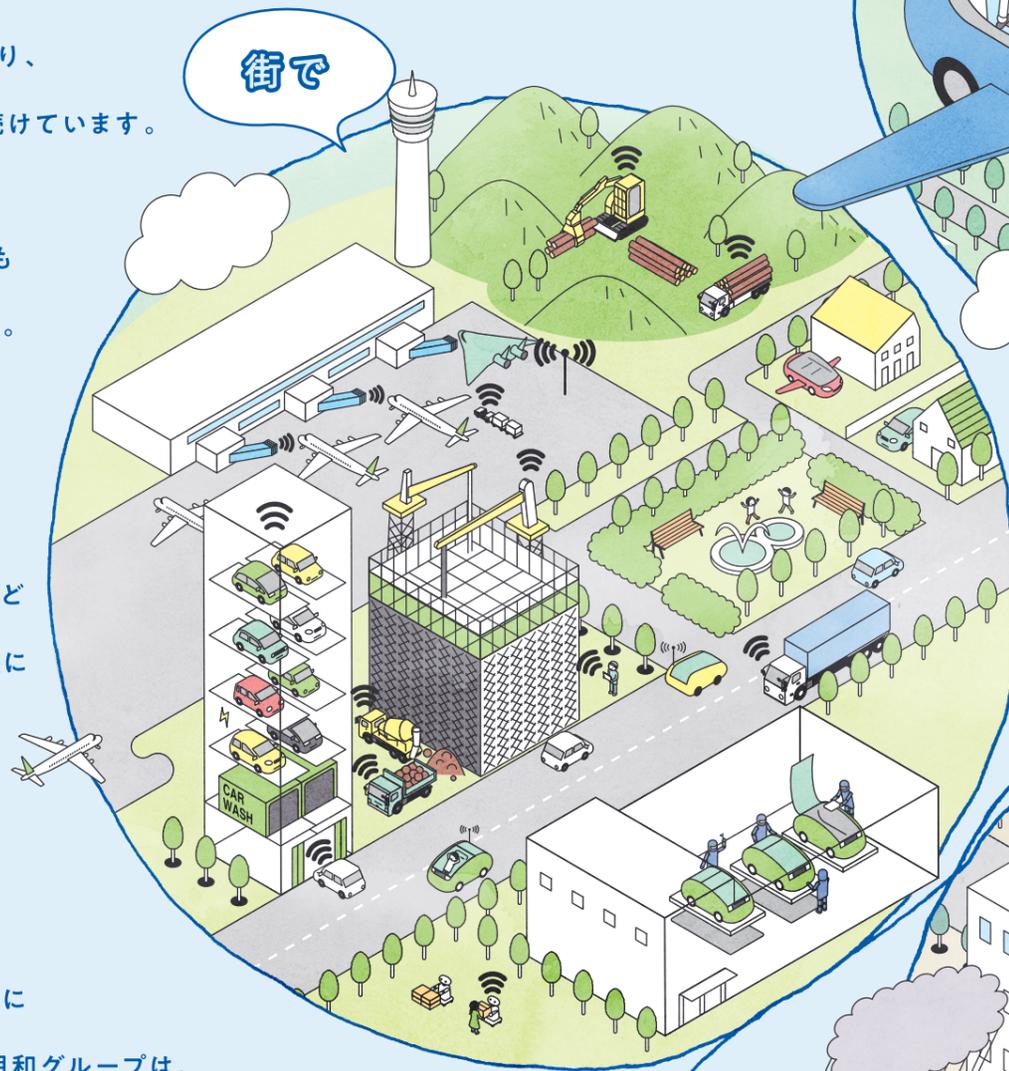
新明和グループはたゆまぬ技術革新で  
安心で快適な街づくりに貢献し続けます

今、私たちの社会や暮らしは、  
絶え間ないイノベーションにより、  
前例のないスピードで変化し続けています。

SF映画やアニメに登場する  
「空飛ぶクルマ」などの実用化も  
現実のものとなりつつあります。

近い未来では  
単なる技術革新だけでなく、  
高齢化・人口減少・環境汚染など  
あらゆる分野の社会課題の解決に  
応える技術の創出が  
期待されています。

誕生から100余年。  
街や人に寄り添い、社会の発展に  
多様な技術で貢献してきた新明和グループは、  
これまで培ってきた広い視野と深い洞察力で  
都市・輸送・環境インフラを進化させる  
価値共創カンパニーへと変化を遂げようとしています。  
これからも、皆様の幸せに貢献し続けるために。



「理想の未来」って何だろう。

地球環境にやさしい暮らし。  
事故や災害の不安が少ない暮らし。  
世代や能力という制限を超えた、  
多様で幸せな暮らし。

夢を現実にする、  
サステナブルな社会の実現。



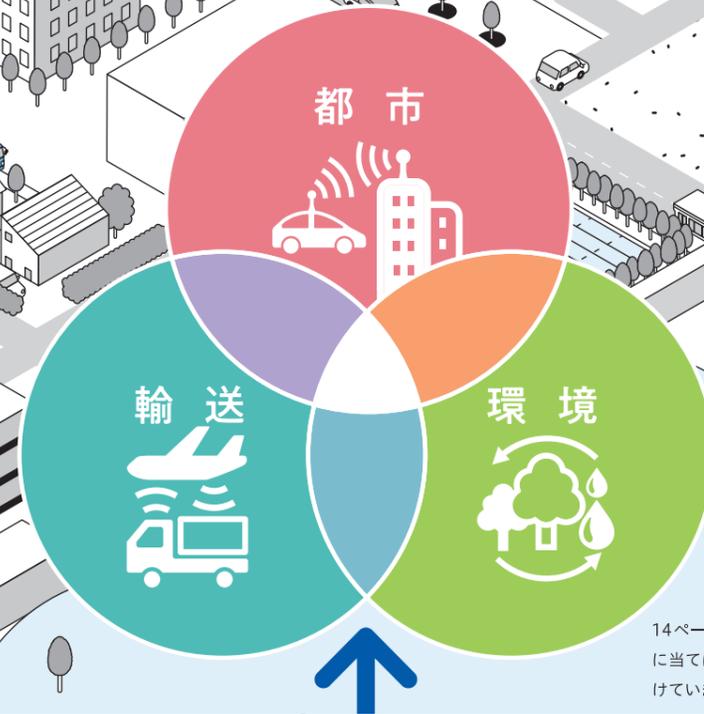
「新明和だからこそできるコト」って何だろう。

「想像」から「創造」へ。  
新明和グループは、  
次の時代、そしてその次の時代にも  
たゆまぬ技術革新で、  
幸せをカタチにすることを  
お約束します。



# 世界中の街に、人に、暮らしに寄り添う 新明和グループ

新明和グループは、現在、航空機、特装車、流体、産機システム、パーキングシステムの5つの事業を柱に、社会インフラを支えるさまざまな製品やサービスを提供しています。安心で快適な暮らしを支えるとともに、省人化・無人化による人手不足の解消、効率化によるコスト削減、環境負荷低減などの社会課題解決にも貢献しています。そして、2030年、ひいてはその先の社会未来像を見据え、「都市」「輸送」「環境」などの領域の社会インフラが、より安全に、そして、ますます便利に利用できるよう、既存製品の付加価値を高める技術開発に加えて、AIやICT等デジタル技術を積極的に活用した新たな価値を創造する取り組みも始めています。



14ページ以降、各製品・サービスに当てはまる領域のアイコンを付けています。



## 航空機事業

海へ、空へ  
技術力と経験で航空機の  
可能性を広げています。

### 最近の取り組み

観測・監視・通信など、幅広い分野で応用可能な固定翼型無人航空機の実用化に向けた研究開発に着手。



## 特装車事業

ニーズに合わせた「働く車」  
作業性と安全性を共に満  
たす品質を追求しています。

### 最近の取り組み

作業者や周囲の安全を守るため、AIの画像認識技術を活用した、業界初の「塵芥車用巻き込まれ被害軽減装置」などの製品・システムを開発。



## 流体事業

生活環境を守り、支える  
ために  
水環境の循環や水害対策  
に貢献しています。

### 最近の取り組み

水処理設備に関わる現場の人手不足の解消や業務の効率化を支えるべく、AIとIoT技術を活用した遠隔監視と予防保全が行えるシステムを開発。



## 産機システム事業

生産性と品質を高める  
ために  
高い技術力で産業の発展  
を支えています。

### 最近の取り組み

IoT技術で自動車産業のニーズに対応。また循環型社会を支える設備の提供や効率的な運営をサポート。



## パーキングシステム事業

快適なモビリティ社会  
を築くために  
都市インフラを支えるソリュー  
ションを提供しています。

### 最近の取り組み

未来の車社会を見据え、産学連携で、自動運転自動車と機械式駐車設備を協調させ、高精度で安全に駐車する技術を確立。



## つなぐことでモビリティのポテンシャル 安心、便利でスマートな都市インフラ

安全・安心で便利な暮らしを支えるために、モビリティの変化を捉え、  
モノとサービスの両面で都市の礎をつくる技術革新に取り組み、  
都市空間を創造します。

を引き出すとともに、  
づくりに貢献します。

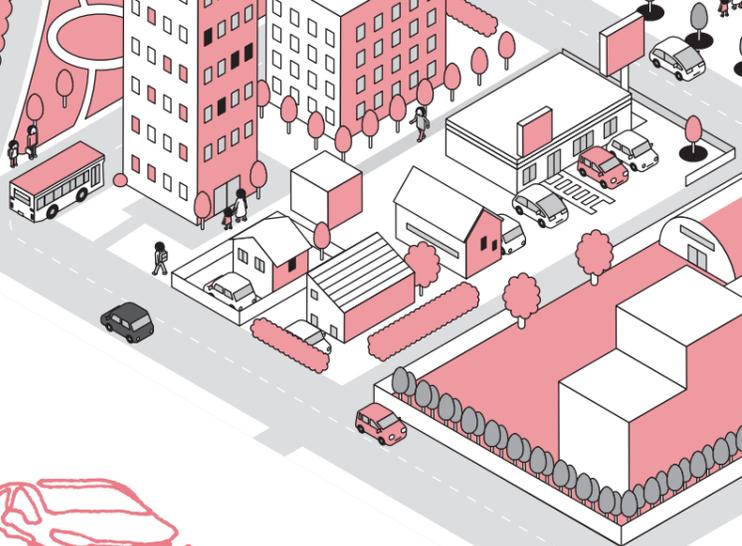
### 空間を有効活用する 豊富なソリューションを提供

未来の都市と車社会のあり方を見据えて、  
安全と利便性を追求

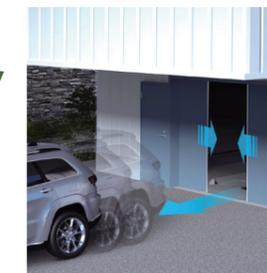
国土の狭い日本で、都市部の駐車  
ニーズに応えるため、多彩な機械式  
駐車設備の創出をはじめ、安全と品質  
維持に不可欠なメンテナンスやリ  
ニューアル工事などを手掛ける新明和。  
二・多段方式駐車設備を主力とする  
グループ会社の新明和パークテック  
株式会社と共に、多くのソリューション  
を提供しています。最近では、自動車の  
電動化や自動運転の技術革新など、  
車社会のめまぐるしい変化を的確に  
捉え、快適な都市空間の創造にも  
貢献しています。



エレベータ方式駐車設備  
「エレパーク®」



機械式駐車設備向け  
「オートドアクローズ  
システム（自動扉閉装置）」



機械式駐車設備用  
遠隔監視点検システム  
「SMART MAIN」



稼働状況を常時監視するお客様センター

「エレパーク®」は省スペース・省エネ設計と高耐震性を誇り、さらに、電気自動車の充電機能にも対応するなど、脱炭素社会の実現にも貢献。新たな機能として、乗り入れ口のドアが自動で閉まる「オートドアクローズシステム」を開発し、利用者の安全性と利便性の向上にも取り組んでいます。  
また、IoT技術を活用した「SMART MAIN」では、機械式駐車設備の稼働状況をタイムリーに把握し、点検作業や予防安全の一部も行うなど、安定した品質の保守サービスの提供で日々の稼働を支えます。

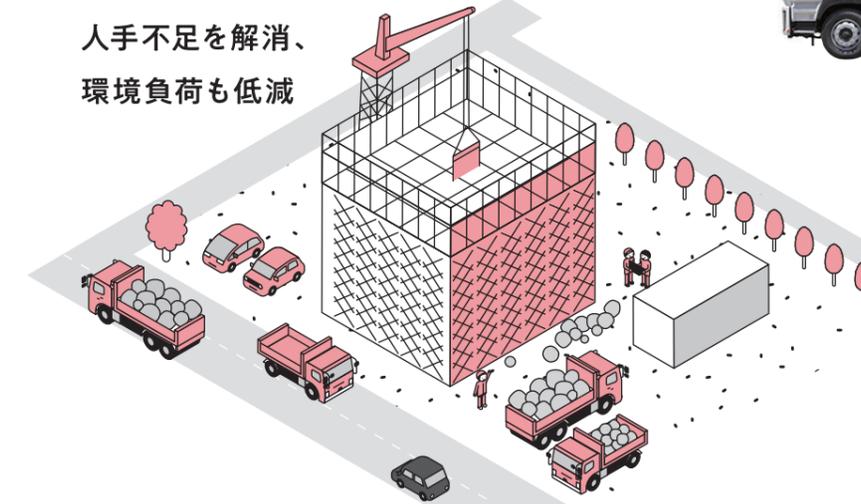
### 都市発展の礎を築く 現場作業をサポート

人手不足を解消、  
環境負荷も低減



リヤダンプトラック

建設工事現場で土砂や碎石等運ぶダンプトラックは、街づくりに欠かせない存在です。新明和では半世紀以上前にダンプトラックを開発。お客様が期待される過酷な使用に耐える強さと、一度に大容量の積載物を輸送できる構造を追求し、長年国内トップシェアを誇っています。多彩なダンプ機能とボデーで、多様な作業現場のニーズに応え、輸送の合理化を通じて都市開発と経済発展を支えています。



### 未来の モビリティ社会実現への 取り組み (CASEへの対応)

自動運転車と各種インフラの連携が求められる中、新明和は自動運転車の実用化に取り組む国立大学法人群馬大学との共同研究を2017年に開始しました。2021年2月には自動運転車と駐車設備を協調させ、高い精度で安全に自動駐車する技術を確立。駐車エリア内に人が立ち入ることなく駐車でき、人身事故のリスクを回避した機械式駐車設備の実現に向け大きく前進、モビリティの可能性を広げました。



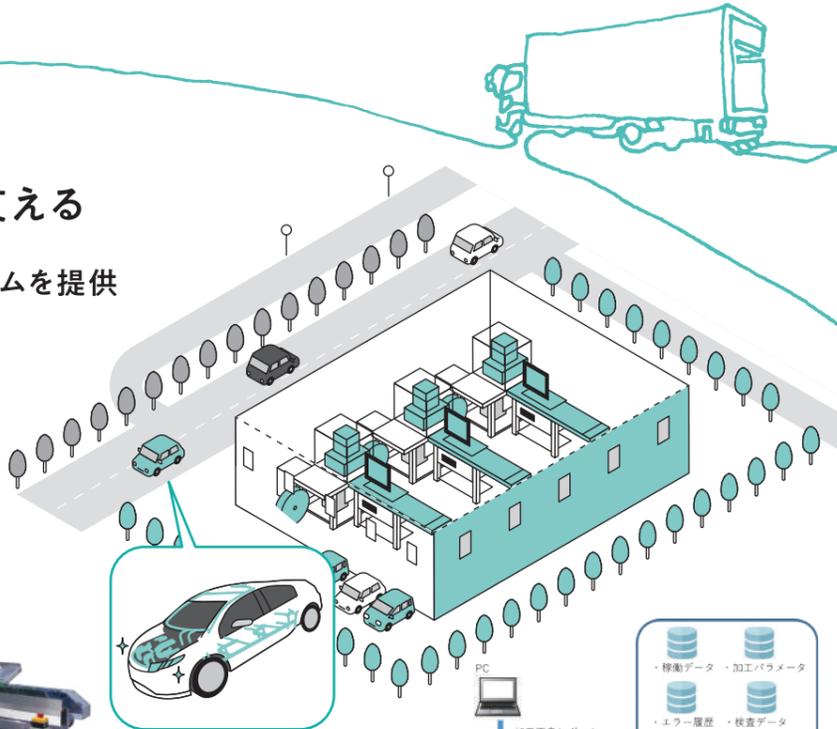
## 輸送手段の自動化を推進し、環境に安全でスムーズな輸送システムの構築

グローバル化の進展とともに拡大する物流業界をはじめ、自動車業界や航空業界における人とモノの安全・安心、そして円滑な輸送を支える技術革新で世界経済の発展に貢献します。

### 人とモノの移動を支える

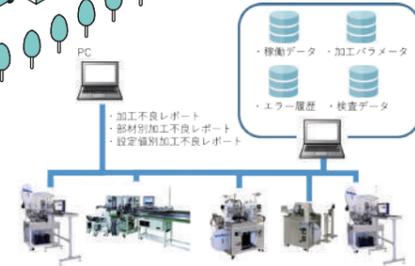
#### 安全でスムーズな輸送システムを提供

新明和は、進化し続ける物流や航空産業において、また、自動車の電動化・自動化の実現に必要な先端技術を搭載した生産設備の提供を通じて、人と環境にやさしい輸送手段の実現を支えています。



#### 自動電線処理機

自動車や家電製品のワイヤーハーネス(組電線)に使用される電線の測長・切断・端子圧着などの端末加工を行う自動電線処理機。ワイヤーハーネスの需要が増加する中、高速・高精度な加工を誇る新明和製は、生産性向上に寄与しています。また、稼働状況をリアルタイムに確認でき、設備停止要因の調査、対策なども支援する遠隔監視システムの開発により、加工不良の原因を迅速に特定するなど設備の稼働率向上に貢献しています。



#### 自動電線処理機向け 高機能版遠隔監視システム



#### 真空成膜装置

自動車のヘッドランプの反射膜や保護膜を形成する真空成膜装置。グループ会社のKOREA VACUUM LIMITEDが手掛ける真空乾燥装置は、電気自動車等の動力源となるリチウムイオン二次電池の製造工程で欠かせない装置で、世界トップクラスのシェアを誇り、脱炭素社会の実現にも寄与しています。



#### 車載用二次電池向け 真空乾燥装置

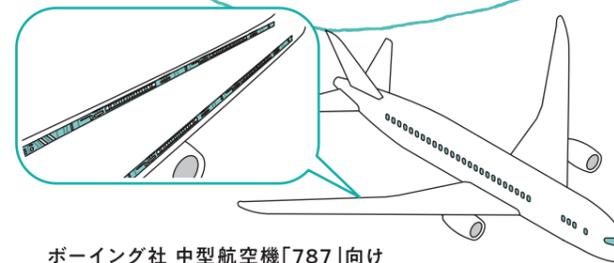
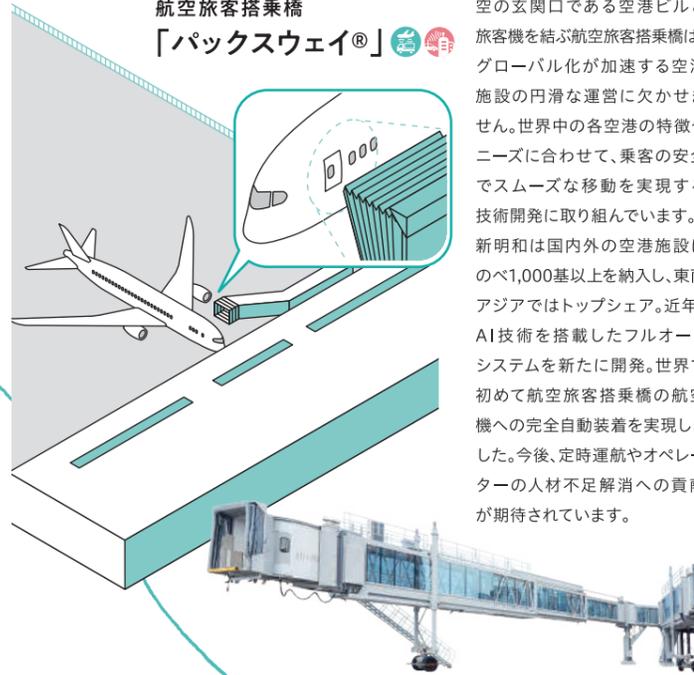
やさしい、  
に貢献します。

### 安全で円滑な乗降をサポート

#### 空港運営のスマート化にも貢献

#### 航空旅客搭乗橋 「パックスウェイ®」

空の玄関口である空港ビルと旅客機を結ぶ航空旅客搭乗橋は、グローバル化が加速する空港施設の円滑な運営に欠かせません。世界中の各空港の特徴やニーズに合わせて、乗客の安全でスムーズな移動を実現する技術開発に取り組んでいます。新明和は国内外の空港施設にのべ1,000基以上を納入し、東南アジアではトップシェア。近年、AI技術を搭載したフルオートシステムを新たに開発。世界で初めて航空旅客搭乗橋の航空機への完全自動装着を実現しました。今後、定時運航やオペレーターの人材不足解消への貢献が期待されています。



#### ボーイング社 中型航空機「787」向け 「主翼スパー」

「787」型機は中型旅客機として初めて、主翼と多くの部位に複合材料を適用した機体。新明和は、この主翼の骨組みにあたる「主翼スパー(桁)」に開発段階から携わっています。航空機に求められる「より軽く」「より丈夫に」「より低燃費に」といったさまざまな課題に、高度な加工技術で応えています。

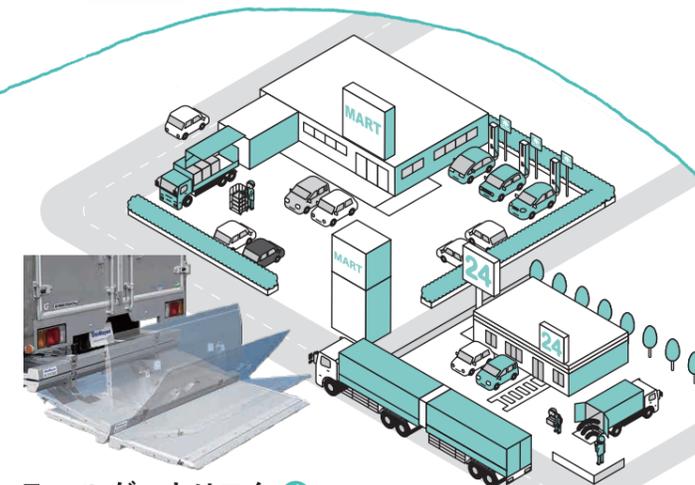


### 命を救う

#### 世界一の性能で救難活動に貢献

#### US-2型救難飛行艇

20世紀初頭から航空機製造に携わってきた新明和。長年の経験で培ってきた唯一無二の技術を結集したのが「US-2型救難飛行艇」です。航空機と船の両方の特徴を併せ持ち、世界で唯一、波の高さ3mの外洋でも離着水できる機能を備えた機体で、防衛省海上自衛隊に納めています。海難救助や離島からの救急患者の搬送など、これまで救助を行った数は、初代の「US-1」から数えて1,000件以上、グループ会社の新明和岩国航空整備株式会社と共に、海上や離島での人命救助を支えています。



#### テールゲートリフタ

トラックの後ろに取り付けて、荷物の積み降ろしを補助する装置。荷役作業の省力化や効率化に役立っています。

#### ウイングトレーラ 「スマートウイング®」

グループ会社の東邦車輛株式会社が手掛ける製品。ボデーを軽量化したことで積載量が大幅に向上。一度に大容量の輸送が可能となり、環境負荷を低減。多様な仕様をラインアップすることで輸送方法の選択肢が広がり、社会課題である運転手不足対策にも貢献しています。





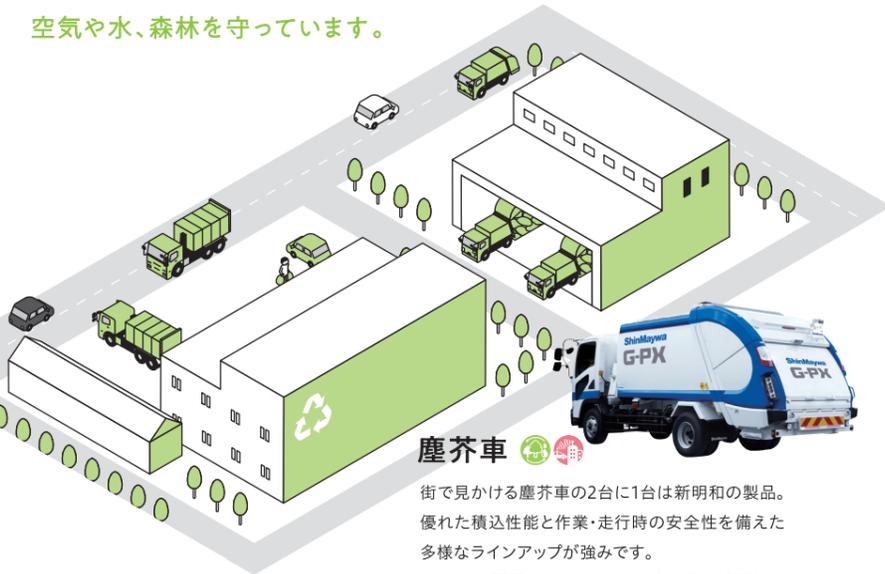
## 廃棄物と生活排水処理システムの環境保全と、循環型経済に向けた

未来を志向したさまざまな技術で私たちにとって欠かすことのできない空気や水、森林を守っています。

### 廃棄物を衛生的かつ効率よく貯留・運搬

#### 循環型社会や脱炭素社会の実現に寄与

社会の発展とともに品目が増える廃棄物。その収集・運搬を担う製品づくりに、新明和は長年携わってきました。「収集」「積み替え」「中間処理」「運搬」などの作業を、衛生的に、効率よく、そして安全に行える製品・サービスを追求するなど、循環型社会の実現に貢献しています。



#### 塵芥車

街で見かける塵芥車の2台に1台は新明和の製品。優れた積込性能と作業・走行時の安全性を備えた多様なラインナップが強みです。作業者や周囲の安全を守る、AI技術を活用した「Smart eye motion®」も開発しました。

※詳細は13ページ「特装車事業」内、「最近の取り組み」参照



#### ごみ中継施設 (サテライトセンター)

一般廃棄物(以下、廃棄物)処理の広域化に欠かせない、廃棄物輸送網の“ハブ拠点”。塵芥車で収集した廃棄物を圧縮・積み替え、一時貯留する機能を備えています。また、大型車でごみ処理施設へ輸送するため、衛生的で、輸送コストやCO<sub>2</sub>削減にも寄与しています。

#### ごみ貯留排出機

#### 「ダストドラム®」

集合住宅や事業系ビルなどに設置され、利用者が投入した一般廃棄物を衛生的に一時貯留する設備。ボタン一つで塵芥車に積み替えられるため、収集作業の省人化にも力を発揮しています。



#### リサイクルセンター

収集した一般廃棄物を、破碎・選別・圧縮減容した後、資源物を再資源化業者に引き渡す中間処理施設。一部の施設では、グループ会社の新明和ウエステック株式会社が運営も担当など、循環型社会に向けて欠かせない存在となっています。



### 航空機技術の新たな可能性を探る

#### 安全・安心な環境観測を支える無人航空機

#### 固定翼型無人航空機「XU-S」

LiPo(リチウムイオンポリマー)電池を動力源に、排気ガスを発生させることなく長時間滞空が可能な無人航空機を新たに開発。2020年には日本気象株式会社・国立大学法人神戸大学と共同で上空の大気汚染物質の測定など環境観測の実証実験を行いました。観測・監視・通信分野などにおいて、自治体や研究機関、企業と共創し、新たな運用を目指しています。



## 最適化を推進し、資源の有効活用に貢献します。

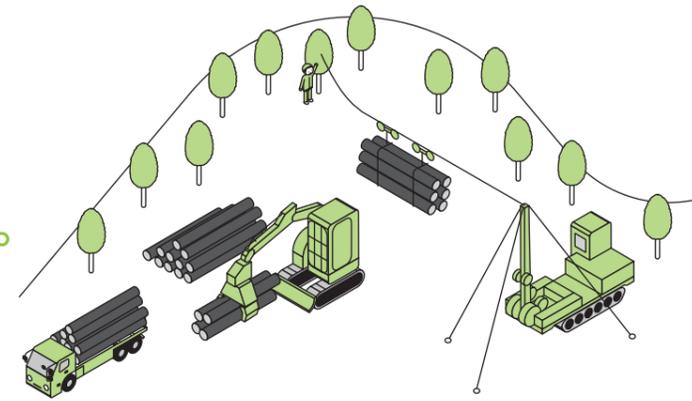
### 林業を支える

#### 森林の多様な機能の維持に貢献



#### 高性能林業機械

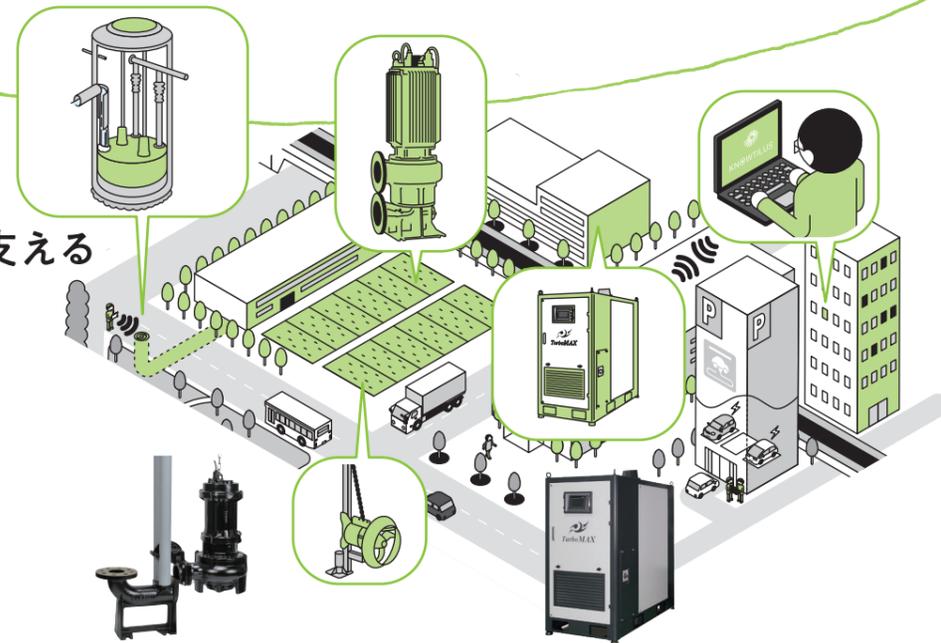
国土の約3分の2を占める森林。生物多様性の保全や地球温暖化の防止、そして、樹木の根は土砂や岩石の崩れを防ぎ、土壌は水質を浄化させるなど、森林は私たちの暮らしを陰で支える大切な存在です。高性能林業機械は、森林を維持するさまざまな場面で重要な役割を果たしています。グループ会社のイワフジ工業株式会社では、木材の伐採・搬出など、林業で必要とされる機械を幅広くラインアップ。近年はAI技術を活用し、急傾斜地から木材を運ぶ架線集材作業の自動化に取り組むなど、危険を伴う作業や人手不足に悩む林業の課題解消を支援する開発にも注力しています。



### 水インフラを通して快適な生活環境を支える

#### 限りある水資源の循環や水害対策でも活躍

快適な生活を送るうえで「水」は欠かせない貴重な資源です。新明和では、下水道で使用される水中ポンプや水処理関連機器の開発・製造、メンテナンスをグループ会社の新明和アクアテックサービス株式会社と共に行っています。近年多発する水害対策に有効な排水ポンプをはじめ、省エネに配慮した製品群で、安全・安心な「水環境」を支えています。



#### 設備用水中ポンプ

下水処理や排水処理施設などで汚水を移送するのに必要不可欠な水中ポンプ。中でも、マンホールポンプ施設等で使用される「CNWX」シリーズは、高効率性と高通過性、この相反する性能の両立により、安定した稼働とコスト低減を実現しています。

#### 空気軸受式可変速単段ターボブロワ「TurboMAX®」

排水処理場等で休むことなく空気を送り込み、汚水処理を促す「ばっ気」を行うブロワ。このばっ気工程の消費電力の大きさが社会課題の一つでしたが、新明和のターボブロワは高い省エネ性で、環境負荷の低減に寄与しています。

#### 立軸槽外型(耐水型)ポンプ

集中豪雨などの水害多発に伴い、下水道関連施設の浸水対策が新たな課題となっています。新明和は多様なポンプ開発の経験と、施設が浸水した場合でも運転可能な水陸両用(耐水型)水中ポンプのシリーズ化を進めています。



#### ポンプ場クラウド監視システム「マンポネット®(クラウド)」

近年、生産工場内の排水処理施設やポンプ場は、人手不足のため、業務の効率化・省人化が課題に。新明和のAIやIoTを活用したこれらのシステムは、遠隔地からの稼働状況の確認や故障予知、レポート作成などにより、設備の安定稼働をサポート。ハードとソフトの両面から技術開発に取り組んでいます。



#### ターボブロワIoT監視サービス「KNOWTILUS®」

# 世界170以上の国と地域で、 快適な暮らしと経済の発展に貢献

## 海外での主な取り組み

さまざまな社会インフラに関連する製品を手掛ける新明和グループは、1952年にアルゼンチンに向けて三転ダンプトラックを輸出して以来、確かな開発力とモノづくり力に基づく製品やサービスの供給を通じて、世界の経済成長や人々の快適な生活を支えてきました。

ダンプトラックや航空旅客搭乗橋、自動電線処理機をはじめとする新明和

グループの主力製品は、世界の170以上の国と地域で活躍しています。東南アジアを中心に、海外拠点と一体となり、その国のニーズや課題を真摯に捉え、安心な社会と人々の快適な暮らしづくりに役立つ製品・サービスの提供に挑み続けます。

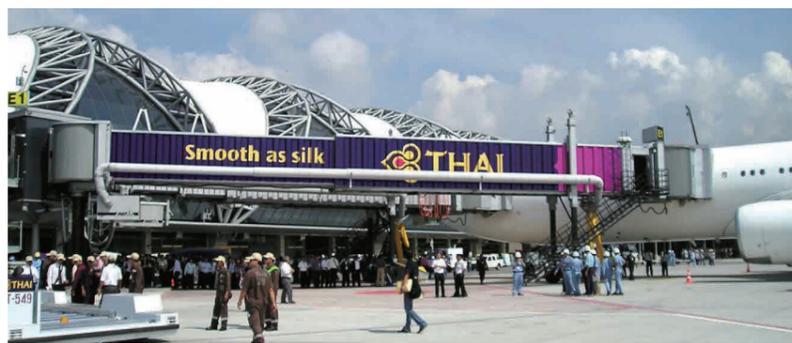


## 輸出と現地生産で、 安心な社会と快適な暮らしを支える

新明和の製品は、広く世界の人々の暮らしに寄り添っています。特装車は、過酷な環境でも壊れない耐久性を兼ね備えたダンプトラックやEV対応の塵芥車など、これまで150以上の国・地域に提供した実績を誇ります。設備用水中ポンプは北米や東南アジア地域、ごみ貯留排出機は東南アジアと、世界各地で社会インフラを支えるさまざまな製品・サービスが活躍しています。



航空旅客搭乗橋は、世界有数のハブ空港であるシンガポールのチャンギ空港をはじめ、これまで60カ国以上の空港に1,000基以上を納入。また、ボーイング社「777」、「787」向けの主要コンポーネントには当社が納めた製品が使用されており、世界の輸送インフラをサポートしています。



さらに、生産現場では、高速かつ高精度な電線加工を得意とする当社製の自動電線処理機が、アジアをはじめ北米、ヨーロッパ、アフリカなどで使用されており、安定稼働を維持するメンテナンス体制とあわせてモノづくりの現場で信頼を得ています。

## タイを軸に東南アジアへ

経済成長に伴い、特に都市部を中心にインフラの整備と生活環境の充実がみられるタイ。新明和グループでは、1988年にタイに海外初の現地法人を設立して以来、同国の産業の発展と快適な都市環境づくりに貢献してきました。

今後は、ASEANの中心となって東南アジア全体の経済成長の牽引役が期待されるタイを軸に、事業の裾野を広げ、東南アジア各国の社会インフラの発展に貢献してまいります。

### 産業の発展を支える

産業界で使用される生産設備は、常に安定した稼働が求められます。自動電線処理機や真空成膜装置等の販売からサービスまでを一貫して手掛けるShinMaywa (Bangkok) Co., Ltd.は、製品のライフサイクルを通して対応できるサポート体制を強みに、タイの各産業の発展を支えています。また、Thai ShinMaywa Co., Ltd.は、ダンプトラックの基幹部品(シリンダー)を製造して30余年。長年の実績に裏打ちされた技術力と生産能力により、タイ市場でシェア約4割を誇り、“新明和の品質”を確保したシリンダーの重要な生産拠点となっています。好調な経済発展を遂げるタイにおいて、ダンプトラックはビルやマンション建設など都市開発の多くの現場で活躍しています。

さらに、タイの玄関口であるスワンナプーム空港には、当社の航空旅客搭乗橋が多数設置されており、人々の日々の往來を支えています。



Thai ShinMaywa Co., Ltd.

### 快適で豊かな暮らしを支える

東南アジアのインフラ整備や都市環境の構築にも新明和の技術が貢献しています。

当社の水中ポンプは、タイをはじめ東南アジア諸国の衛生的な生活環境の維持に高い評価を得ています。

2020年にはThai ShinMaywa Co., Ltd.の拠点に流体製品の生産工場を設け、周辺国への輸出も開始しました。

また、タイの首都バンコクを中心とした多数のショッピングモールに当社のごみ貯留排出機「ダストドラム®」が設置されており、都市部の清潔な街づくりを支えています。



バンコクのショッピングモールにある「ダストドラム®」

機械式駐車設備では、2019年にタイの機械式駐車設備販売会社 GENERAL AUTOMATIC CARS PARKING SYSTEM CO., LTD. (以下G-PARK社)と代理店契約を締結。同社との協業により、タイ国内の高層オフィスビルや公的機関、バンコク都内のホテルに「エレパーク®」を納入しました。自動車普及率が増加するタイの駐車環境改善に貢献しています。



G-PARK社内に建設した「エレパーク®」ショールーム “G-PARK & ShinMaywa Tower”

# 人々の幸せに貢献する 企業グループであり続けるために

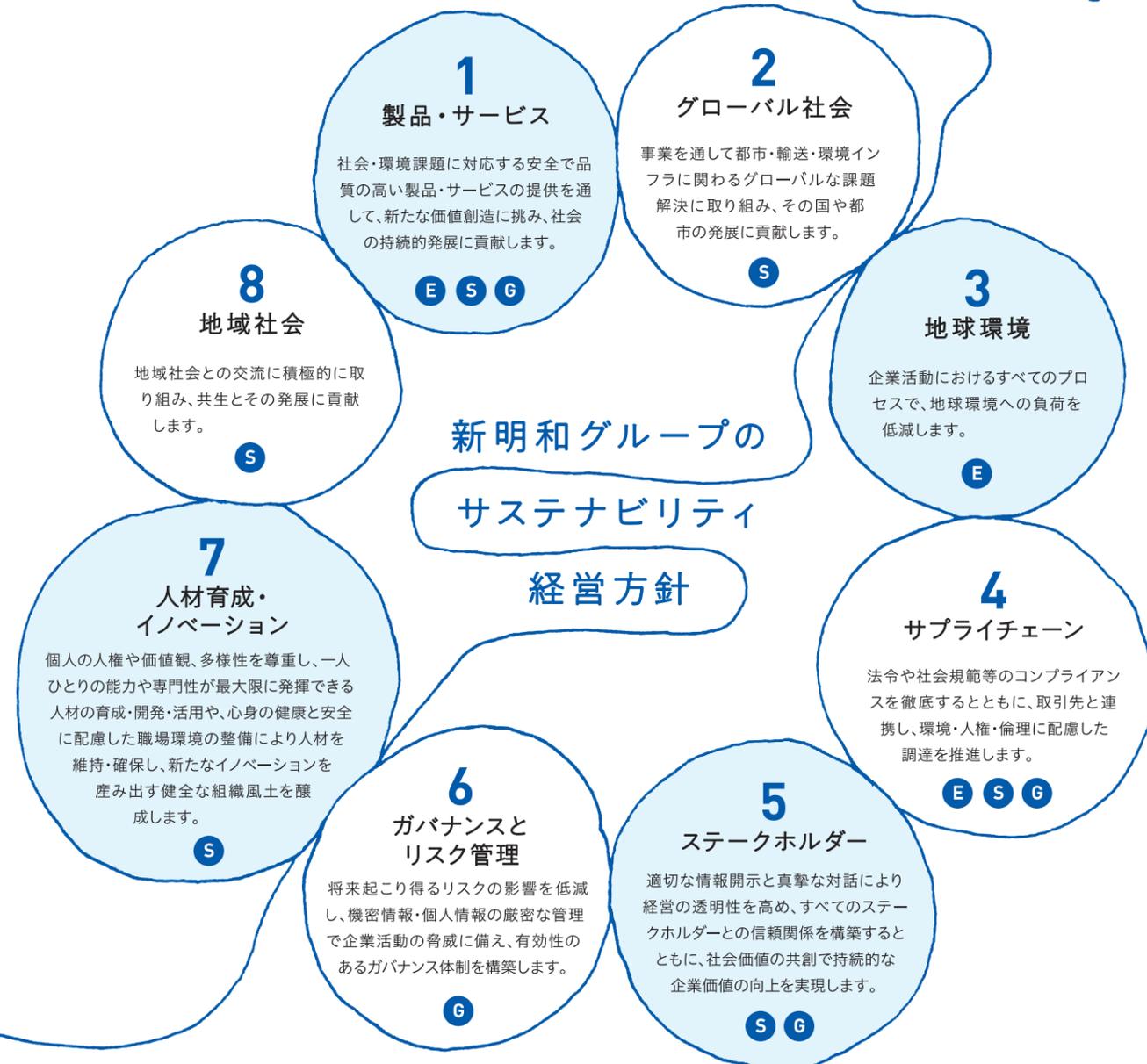
## 「社会的責任」を果たす企業活動

新明和グループは、「新明和グループの理念」のもと、健全で透明性の高い経営はもとより、社会や環境と調和した事業活動を通して、ステークホルダーから信頼を得ることを目指しています。

E(環境)S(社会)G(企業統治)に対応

する以下の8つの視点を盛り込んだ「サステナビリティ経営方針」を掲げ、これに基づく「サステナビリティ経営」を推進しています。

また、企業と社会の「共通課題」であるSDGsに貢献する幅広い取り組みを行うことでも社会的責任を果たしています。



1

### 製品・サービス

安全で品質の高い製品・サービスで  
社会課題の解決と  
新たな価値創造に挑む

新明和グループでは、航空機、特装車、流体、産機システム、パーキングシステムの各事業において、営業・工場・サービスが三位一体となって、環境負荷低減や人手不足の解消をはじめとするさまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。



2

### グローバル社会

JICA主催の  
「廃棄物管理改善支援プロジェクト」に参加

2011年度からJICA(独立行政法人 国際協力機構)が主催する「廃棄物管理改善支援プロジェクト(J-PRISM)」の一環である課題別研修に、参加・協力しています。この研修は太平洋やアジア、中南米地域を対象に、政府や自治体職員の廃棄物処理に関する行政能力向上を目的に実施されており、当社は塵芥車の基本操作と安全指導に関する講習などを担当しています。また、2014年度には、ソロモン諸島ホニアラ市を対象とした「JICA草の根事業「New3R(リデュース、リユース、リサイクル+リターン)」の理念を踏まえた官民協働による家庭ごみの分別収集システム構築プロジェクト」にも参画し、同市に納入した当社の計量機能付き塵芥車を用いて、取り扱い方法等の現地研修を実施しました。塵芥車や効率的な廃棄物処理・リサイクル設備で循環型社会に貢献しています。



2019年度は13カ国14名が広島工場で講習を受講  
(2020年度、2021年度は、コロナ禍の影響で活動休止)

# 3 地球環境

## モノづくりや企業活動における 環境負荷低減の取り組み

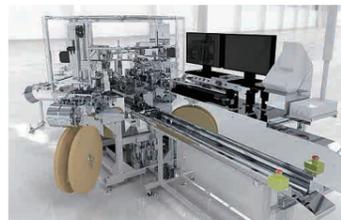
省エネに資する製品・サービスの開発を通じて、さまざまなプロセスを見直し、地球環境への負荷を減らす努力や工夫をしています。事業活動では、工場部門の生産規模拡大に伴いCO<sub>2</sub>排出量も増加する傾向にありますが、節電や省エネ設備の導入などで、エネルギー使用効率は低減傾向にあります。

モノづくりでは、24時間365日稼働することに着目して自社従来機比40%の省エネ化を実現した水中ミキサや、欧州の環境性能基準等を満たした製品に付与される「CEマーキング」適合仕様の自動電線処理機などを開発し、環境負荷低減を図っています。

また、当社と新明和オートエンジニアリング株式会社は「一般社団法人日本自動車車体工業会」に加盟しており、同会が推進する商用車架装物のリサイクル活動に賛同し、解体マニュアルの整備や部品の共通化による環境負荷の低減に取り組んでいます。



節電対策として採用しているLED照明やアモルファス変圧器



「CEマーキング」適合仕様の自動電線処理機(上)、省エネ型水中ミキサ(右)



「より環境にやさしい架装物」として認められ、「新環境基準適合ラベル」が付与された塵芥車



# 4 サプライチェーン

## 取引先との信頼関係を 重視した調達活動

新明和グループでは、自社で定めた「CSR調達方針」の下、公平な取引を継続するクリーン調達や法令・社会規範の順守などについて定めた「CSR/持続可能な調達基準」に基づいた取引を行っています。調達活動に関わるグループ会社も含む全ての部署に調達の心得を示したカードや教育冊子を配布し、各事業所での事業方針説明会の開催や調達先を個別訪問する折にCSR調達への理解と協力を求めています。また、チェックシートを用いて取引先の選定を平等に行うよう努めています。



下請法等についてまとめ、各部署に配布している教育冊子

# 5 ステークホルダー

## 多様なステークホルダーに、 平等・速やかに情報を伝える広報活動

広報部門では、社長を最高責任者とし、タイムリーな情報開示を心掛けています。株主・投資家には、公正で適時的確な情報提供を行えるよう、ディスクロージャーポリシーに基づいて対応しています。社員に対しては、各種社内広報媒体を通じて経営幹部の考えや事業活動、社内情報を継続して発信しています。また、全てのステークホルダーを対象に、ウェブサイト上に企業情報を掲示するのに加え、「YouTube」「Facebook」「Instagram」の公式企業アカウントを設け、新明和グループの活動内容をタイムリーに、より身近に感じていただける情報発信にも努めています(裏表紙にそれぞれQRコードを記載しています)。



当社が発行する各種広報媒体

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



# 7 人材育成・イノベーション

## 働きがいのある、 働きやすい職場づくり

社員の多様な働き方を支援する、各種制度の充実に努めています。一例として定年後も就労できる「シニア雇用制度」の導入や、障がいを持つ方の雇用促進を目的とした特例子会社「新明和ハートフル株式会社」の設立、また、女性が活躍できる職場環境整備に向けた行動計画を策定するなど、多様な社員が活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

このほかにも働きがいを感じられる職場づくりの一環として、「社長表彰」「事業部長表彰」「工場長表彰」などの各種社内表彰制度を設けるとともに、日々の鍛錬の成果を披露する技能競技会を開催し、成績優秀者を表彰するなど、社員のモチベーションを高める取り組みを行っています。



「社長表彰」式典



特例子会社：新明和ハートフル株式会社

# 6 ガバナンスとリスク管理

## コーポレート・ ガバナンス体制の構築

新明和グループでは、法令や社会的な規範・良識に基づいた企業活動を行うとともに、経営の透明性・合理性を確保し、企業価値を持続的に向上させるべく、取締役会において「内部統制システム構築の基本方針」を定めています。また、コーポレート・ガバナンスシステムの内容について検証・改善する仕組みを構築しています。



定時株主総会



# 8 地域社会

## 宝塚市(兵庫県)に 環境学習用塵芥車を寄贈

2020年に当社が創業100周年を迎えたことを記念して、本社を置く地元宝塚市に、当社が開発した、車体の一部が透明で、投入した廃棄物の流れが外から確認できる仕様の「環境学習用塵芥車」を寄贈しました。現在、「宝塚市クリーンセンター」に常設され、市内の児童を対象とした環境学習教材として役立てられています。

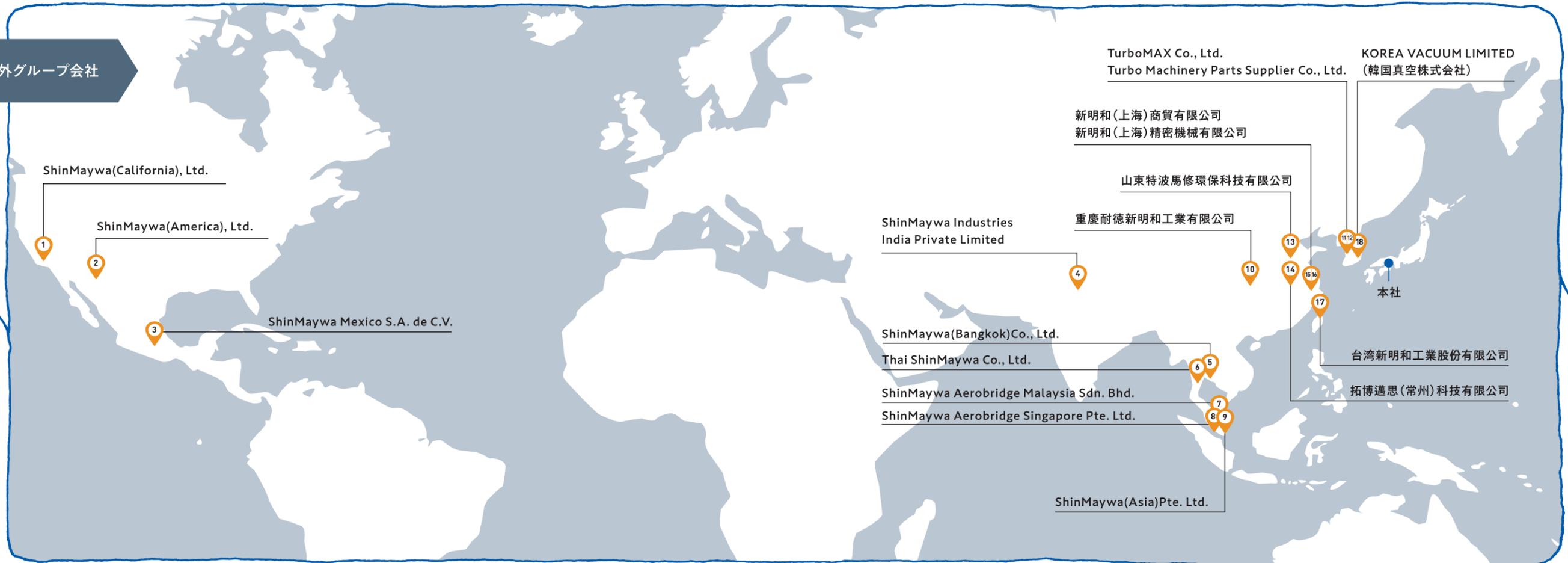


宝塚市主催による「贈呈式」

# 世界中に広がる新明和グループのネットワーク

グローバル展開をリードする海外ネットワーク。  
新明和グループとして、世界各国の快適な暮らしと産業の発展に貢献しています。

## 海外グループ会社



1 ShinMaywa(California), Ltd.   
航空機関連製品向け資材調達

2 ShinMaywa(America), Ltd.   
自動電線処理機、流体製品の販売・保守・修理

3 ShinMaywa Mexico S.A. de C.V.   
自動電線処理機、真空装置および流体製品の販売・保守・修理

4 ShinMaywa Industries India Private Limited  
情報収集・営業活動など

5 ShinMaywa(Bangkok) Co., Ltd.   
自動電線処理機、真空装置および環境システム製品の販売・保守・修理・据付

6 Thai ShinMaywa Co., Ltd.   
特装車部品などの製造・販売および流体製品の製造

7 ShinMaywa Aerobridge Malaysia Sdn. Bhd.   
航空旅客搭乗橋の製作

8 ShinMaywa Aerobridge Singapore Pte. Ltd.   
航空旅客搭乗橋の組立・保守・修理

9 ShinMaywa(Asia) Pte. Ltd.   
航空旅客搭乗橋、産機・環境システム製品  
および流体製品の販売・保守・修理

10 重慶耐德新明和工業有限公司   
特装車、環境システム製品の製造・販売・保守・修理

11 TurboMAX Co., Ltd.   
ターボプロワの設計・製造・販売

12 Turbo Machinery Parts Supplier Co., Ltd.   
ターボプロワ部品の製造・販売

13 山東特波馬修環保科技有限公司   
ターボプロワの技術支援・組立・サービス

14 拓博邁思(常州)科技有限公司   
ターボプロワの販売・技術支援

15 新明和(上海)商貿有限公司   
自動電線処理機はじめ各種産機システム製品の販売・保守・修理

16 新明和(上海)精密機械有限公司   
自動電線処理機の製造・販売

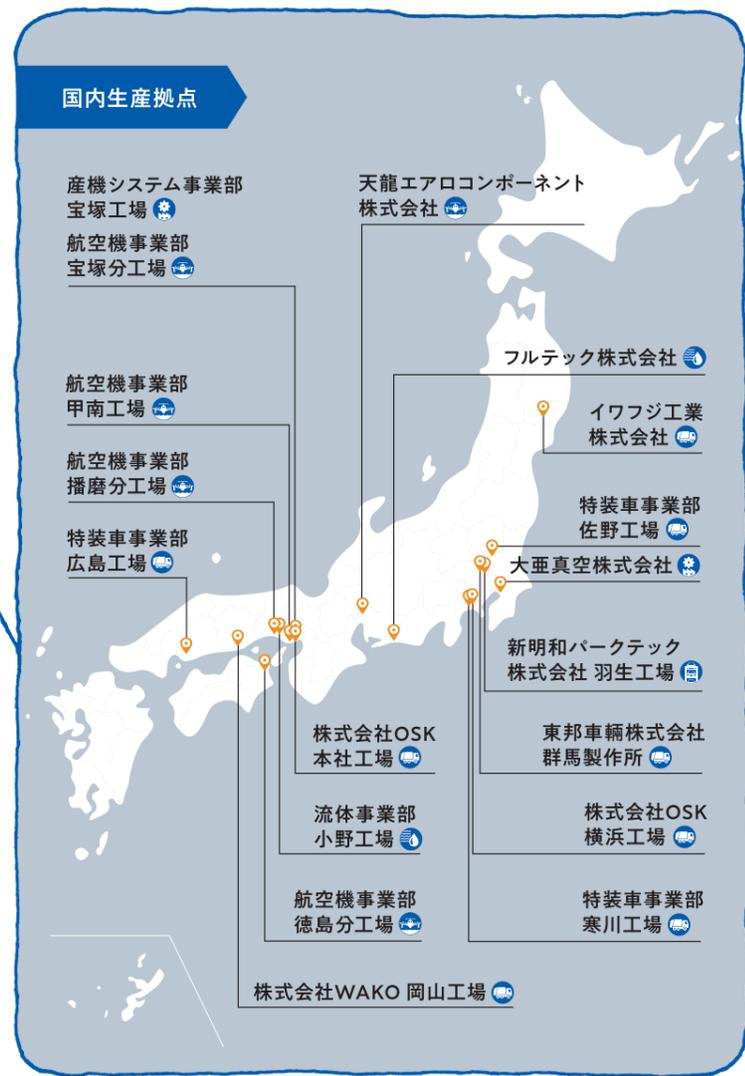
17 台湾新明和工業股份有限公司   
機械式駐車設備の製造・販売・保守・改修

18 KOREA VACUUM LIMITED (韓国真空株式会社)   
真空装置、車両用部品等の製造、コーティングサービス等

各社の所在地・連絡先および最新の情報はこちら



# 国内拠点とグループ会社



製品の開発・製造からアフターサービスに至るプロセスをグループ内で一貫して対応できるのが新明和グループの強みです。生産拠点のほかにも全国各地に営業所やサービス拠点を配し、お客様のもとにお届けした製品がそれぞれの環境で最良のパフォーマンスを発揮するよう、きめ細やかなサポート体制を整えています。

## 国内グループ会社

### 特装車事業

**特装車事業部**  
〒230-0003 神奈川県横浜市鶴見区尻手3-2-43  
TEL(045)581-4711 FAX(045)581-4719

**佐野工場**  
大型ダンプトラック、ミキサ車など主に建設関連車両および特殊車両製造  
〒327-0816 栃木県佐野市栄町2  
TEL(0283)23-2220 FAX(0283)24-8307

**寒川工場**  
中・小型ダンプトラック、テールゲートリフトなど主に物流関連車両製造  
〒253-0114 神奈川県高座郡寒川町田端1591  
TEL(0467)75-2142 FAX(0467)74-1756

**広島工場**  
塵芥車など主に環境関連車両製造  
〒739-0147 広島県東広島市八本松西7-1-13  
TEL(082)428-8000 FAX(082)428-8622

### 流体事業

**流体事業部／小野工場**  
水中ポンプなど流体製品製造  
〒675-1322 兵庫県小野市匠台14  
TEL(0794)63-8060 FAX(0794)63-8066

### 産機システム事業

**産機システム事業部／宝塚工場**  
自動電線処理機、真空装置、DDモータなど各種産業機器製造  
〒665-0052 兵庫県宝塚市新明和町1-1  
TEL(0798)52-1234 FAX(0798)54-1897

### パーキングシステム事業

**パーキングシステム事業部**  
〒110-8620 東京都台東区東上野5-16-5 新明和上野ビル  
TEL(03)3843-3230 FAX(03)3843-1060

### 航空機事業

**新明和岩国航空整備株式会社**  
航空機の修理・改造・整備  
〒740-0017 山口県岩国市今津町1-8-21  
TEL(0827)22-1621 FAX(0827)22-7427

**天龍エアロコンポーネント株式会社**  
航空機部品の製造および組立、航空機シートの製造・販売  
〒504-0814 岐阜県各務原市蘇原東町1-1  
TEL(058)382-6431

### 特装車事業

**イワフジ工業株式会社**  
林業機械の製造・販売  
〒023-0872 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1  
TEL(0197)23-3111 FAX(0197)25-3177

**新明和オートエンジニアリング株式会社**  
各種特装車の保守・修理、関連部品販売  
〒230-0003 神奈川県横浜市鶴見区尻手3-2-43  
TEL(045)582-1522 FAX(045)582-1593

**新明和オートセールス株式会社**  
中古自動車の販売、搬送機器他の製造・販売・保守、廃棄物の処理設備などの製造・販売・保守  
〒230-0003 神奈川県横浜市鶴見区尻手3-2-43  
TEL(045)580-0150 FAX(045)580-0151

**大和総業株式会社**  
特装車・油圧機器の部品販売およびサービス、特装車の架装、整備自動車計器類・電装品の販売・取付  
〒411-0905 静岡県駿東郡清水町長沢55-3  
TEL(055)975-6790 FAX(055)975-6856

**株式会社森安自動車工作所**  
各種自動車、特殊車両の車検整備・一般整備、特装車の整備・点検検査・架装・板金加工・塗装・部品販売  
〒651-2137 兵庫県神戸市西区玉津町出合字上ノ垣内3-1  
TEL(078)925-0707 FAX(078)925-0708

### 東邦車輛株式会社

トレーラ、タンクローリ、ウイングバンなどの特装車の製造・販売・保守・修理  
〒230-0003 神奈川県横浜市鶴見区尻手3-2-43  
TEL(045)575-9901 FAX(045)575-5247

### 東邦車輛サービス株式会社

関西地区のトレーラ、タンクローリ、ウイングバンなどの特装車の保守・修理  
〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2-5-10  
TEL(072)433-2401 FAX(072)433-2403

### 株式会社OSK

油圧ポンプ、減速機他油圧機器部品の製造および販売  
〒658-0041 兵庫県神戸市東灘区住吉南町1-11-27  
TEL(078)811-2345 FAX(078)843-0356

### 株式会社WAKO

油圧ポンプ、減速機他の鋳造加工、めっき加工  
〒702-8016 岡山県岡山市南区小串3385-5  
TEL(086)269-2811 FAX(086)269-2061  
※本店所在地は株式会社OSKと同様

### 流体事業

**新明和アクアテックサービス株式会社**  
流体関連製品の据付・保守・修理  
〒658-0015 兵庫県神戸市東灘区本山南町8-6-26  
TEL(078)436-0760 FAX(078)436-0761

### フルテック株式会社

高圧洗浄機、塗装機等の機械器具製造・販売・修理  
〒433-8118 静岡県浜松市中区高丘西1-17-55  
TEL(053)438-3131 FAX(053)438-3130

### 産機システム事業

**新明和ウエステック株式会社**  
リサイクル施設やごみ中継施設など環境施設の運営管理  
〒665-8550 兵庫県宝塚市新明和町1-1  
TEL(0798)56-5046 FAX(0798)30-5588

### 大亜真空株式会社

真空技術を利用した各種機械製造  
〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田495  
TEL(047)459-5311 FAX(047)459-3628

### パーキングシステム事業

**新明和パークテック株式会社**  
機械式駐車設備の製造・販売・保守・修理  
〒108-0023 東京都港区芝浦4-3-4  
TEL(03)5439-1090 FAX(03)5439-1091

### その他事業

**新明和商事株式会社**  
不動産および人材派遣業ほか  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町4-8  
TEL(0798)65-1115 FAX(0798)65-1117

### 新明和ソフトテクノロジー株式会社

業務系・モバイル系システムの開発、CAD/CAE技術支援、パッケージソフトの開発・販売、ITインフラの構築・運用  
〒663-8001 兵庫県西宮市田近野町6-84  
TEL(0798)51-5922 FAX(0798)51-6040

### 株式会社ゴードーソリューション

パッケージ(CAD/CAMシステム)販売、中小製造業向けシステムの開発・販売  
〒435-0028 静岡県浜松市南区飯田町471  
TEL(053)465-0711 FAX(053)465-0714

### 新明和ハートフル株式会社

書類の電子化、データ入力など  
〒658-0027 兵庫県神戸市東灘区青木1-1-1  
TEL(078)436-0661 FAX(078)436-0662

### 株式会社明和工務店

建築、土木、電気、給排水、空調の設計施工  
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町7-4-3  
TEL(078)940-1000 FAX(078)940-1182

## 国内主要拠点

**本社**  
〒665-8550 兵庫県宝塚市新明和町1-1  
TEL(0798)56-5000 FAX(0798)56-5001

### 航空機事業

**航空機事業部／甲南工場**  
飛行艇、民間航空機向けコンポーネント製造  
〒658-0027 兵庫県神戸市東灘区青木1-1-1  
TEL(078)412-9151 FAX(078)431-3695

**宝塚分工場**  
民間航空機のコンポーネント製造  
〒665-0052 兵庫県宝塚市新明和町1-1  
TEL(0798)57-5610 FAX(0798)57-5620

**徳島分工場**  
防衛省向け航空機の改造・整備  
〒771-0215 徳島県板野郡松茂町豊岡宇豊岡開拓226  
TEL(088)699-4365 FAX(088)699-4368

**播磨分工場**  
民間航空機の金属部品製造  
〒675-1322 兵庫県小野市匠台30  
TEL(0794)64-0625 FAX(0794)64-0635

各製品に関するお問い合わせはこちら



新明和グループ 製品・サービス一覧



航空機事業



US-2型救難飛行艇



多用途機「U-4」(定期修理)



ボンバルディア社  
ビジネスジェット機「CRJ900」向け  
「フラップ」など



ボーイング社 大型航空機「777」向け  
「翼胴フェアリング」



ボーイング社 中型航空機「787」向け  
「主翼スパー」

特装車事業



リヤダンプトラック



スライドボデー付きダンプトラック  
「ローダーダンプ」



ミキサ車  
「ミックスエース®」



テールゲートリフタ



タンクローリ



粉粒体運搬車  
「バルクZ®」



飼料運搬車  
「ファームバック®」



ウイングセミトレーラ  
「スマートウイング®」



スライドデッキ



コミュニケーションツール  
「ShinMaywa Smart Connect®」  
(新明和スマートコネク)



高性能林業機械



塵芥車



塵芥車用巻き込まれ被害軽減装置  
「Smart eye motion®」



脱着ポデトラック  
「アームロール®」



散水車



強力吸引車  
「クリーンキューム®」

流体事業



高効率・高通過性水中ポンプ  
ノンクロスクリュー®  
水中ポンプ「CNWX」



ポンプ場クラウド監視システム  
「マンボネット®(クラウド)」



高性能樹脂タイプ軽量水中ポンプ  
「ノーラス®」



横型水中軸流ポンプ



立軸槽外型(耐水型)  
ポンプ



高効率水中ミキサ



縦型低動力攪拌機



陸上ブロウ



空気軸受式可変速単段  
ターボブロウ  
「TurboMAX®」

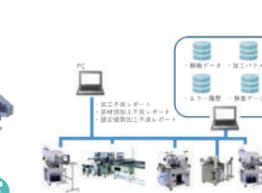


ターボブロウIoT監視サービス  
「KNOWTILUS®」

産機システム事業



自動電線処理機



自動電線処理機向け  
高性能版遠隔監視システム



ダイレクトドライブモータ



真空成膜装置



真空排気用超低温冷却装置  
「NeoCold®」RCTシリーズ



ダイヤモンドコーティング装置



イオンエッチング装置



車載用二次電池向け  
真空乾燥装置



多重板型スクレプス  
汚泥脱水機



ごみ中継施設(サテライトセンター)



リサイクルセンター



ごみ貯留排出機  
「ダストドラム®」

パーキングシステム事業



エレベータ方式駐車設備  
「エレパーク®」



機械式駐車設備用  
遠隔監視点検システム  
「SMART MAIN」



機械式駐車設備向け  
「オートドアクローズシステム」  
(自動扉閉装置)



「Loop Park®(ループパーク®)」



平面往復方式駐車設備  
「T-Sips®(ツップス®)」



二・多段方式駐車設備



「パークネット®」



航空旅客搭乗橋  
「ボックスウェイ®」



航空旅客搭乗橋  
「フルオートシステム」  
(完全自動装置システム)

研究開発中

固定翼型無人航空機  
「XU-S」

未来のモビリティ社会  
実現への取り組み  
(CASEへの対応)